

日本共産党代表

加藤議員

就学援助制度について

問①就学援助制度は、経済的理由で就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な諸経費を援助する制度である。援助内容について、国庫補助基準の項目と金額は支給されているか。

2年前に国では、部活動、生徒会費、PTA会費が就学援助の項目に追加されたが、勝山市は追加しているか。

②就学援助対象者は、生活保護基準が引き下げられると連動して減少する。市にはどれほどの影響があるか。

③就学援助の趣旨・基準を全保護者にどのように周知しているか。

答①勝山市の給付内容は、給付項目や金額は国庫補助基準に準拠して行っているが、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費については給付項目としていない。これについては県内では2市のみが給付項目に追加しており、当市も他市の状況をみながら考えていきたい。

②勝山市では、準要保護の認定基準を生活保護基準の1.3倍未満としており、生活保護基準の引き下げにより、認定が受けられなくなる世帯が出る可能性があるが、そのような影響が出ないような運用が考えられないか検討していきたい。

③就学援助制度については、毎年各小中学校の入学説明会時に資

その他の質問

アベノミクスについて  
勝山市新年度予算について  
地方公務員の退職手当と賃金の削減について  
奥越二次医療圏の存続について  
福井社会保険病院の医師確保について

料を配布し、説明を行い保護者への周知を図っている。

子ども医療費助成の拡充について

問①勝山市における子どもの医療費助成制度は中学卒業までとなっているが、子育て日本一を目指すなら、高校卒業までに拡充できないか。

②多くの自治体でやっているように、病院の窓口での無料化を実施すべきでないか。

子ども医療費助成制度について

①子ども医療費助成制度については、平成24年4月より中学生も小学生と同様に拡充したところであるため、現時点では、当分の間この制度での助成を継続したいと考えている。

しかし、県の助成制度が拡充された際には、市においても拡充を検討したいと考えている。

②県内において、一つの市町が独自に実施すると、医療機関において医療費の支払い時に混乱することが予想されるため、実施する場合は、県下統一しての実施が望ましいと考えている。今後も保護者の利便性を考慮し、現場の実態に合うような運用ができるよう県や国に要望していきたい。

勝山市の未来を拓く会代表

乾議員

緊急経済対策を受けての建設事業について

問国の3月補正予算と新年度予算を合わせた緊急経済対策を受けて、当市の補正を含めた予算編成に大型の公共事業が含まれている。建設業界の人手不足や建設資材が不足・高騰するなかで、多くの建設事業が早く執行され、工事期限内に消化できるのか。例えば、授業のある学校工事、田植え前の農水路等、期限厳守の工事もある。早く執行しなければという課題があるなか、所管する建設部の対応はどうか。

答建設業における人材、資材不足に伴う工事進捗の遅れが報じられ、また工事実施には、市民および関係者のコンセンサスを得る必要があるため、タイトなスケジュールであると認識している。市としては、市場における建設資材の流通量、製造期間、適正価格等を随時把握し、設計図書を作成および工期設定に反映していく。また建設部内では、応援体制を強化し情報共有しながら、早期発注、竣工による事業の進捗促進に努めている。

その他の質問

農業振興について  
中国からの大気汚染について  
専門職員の配置について

福井社会保険病院の方向性について

―国の新しい推進体制における当病院の位置付け―

問国は、旧社会保険庁保有施設の廃止等の整理を進めてきている。幸い、福井社会保険病院では、これまでの整理を目的とした組織から、地域医療に貢献しつつ安定的な病院運営を行うことを目的とする新組織に平成26年4月に改組される。従って、当病院の存続は勿論、より充実した運営がなされるものと期待したいが、推進機構はどのような当病院運営の青写真を描かれて、その準備を進められているのか。市として、現在より悪くならないように努力願いたい。

答福井社会保険病院は、新体制の方向性について、緊急医療、災害時における医療など地域において必要とされる医療及び介護を提供する機能の確保を図り、公衆衛生の向上や福祉の増進を目指しており、地域医療、地域包括ケアの連携の「要」としての機能を果たしていくと述べている。

民主党から自民党に政権が変わったからは「地域医療機能推進機構の法人制度のあり方検討会」が開催されていないため、新機構へのスムーズな移行に向けて関係自治体等と共に今後も国等に強く働きかけていく。